

**法人名 特定非営利活動法人アグリドッグレスキュー
事業計画書**

| | |
|----------|--|
| 事業名 | 動物愛護センターに收容された犬を保護・一時飼養し、終生飼養家庭につなげる保護犬譲渡会および啓もう活動事業 |
| 種類 | (1) SDGs 推進事業 (地球) |
| 1. 事業の目的 | <p>動物愛護センターなどに收容される犬の数は全国で 27,000 頭を超え、4,000 頭以上が殺処分されています。その理由は「生まれてしまったから」「病気になった」「飼えなくなった」など人間の一方的な理由によるものがほとんどです。家族なら、人間のこどもなら同じ理由で捨てるということはしないのに、犬というだけで命が軽んじられている現状がまだ解消されていません。身の回りにある生き物の命を大切に思うことは、地球規模での生物多様性の考えの基礎となるものだと考えています。</p> <p>その対策として、2つの活動が必要だと考えています。</p> <p>一つは犬たちに終生飼養の家庭を探す譲渡活動。埼玉県動物指導センターをはじめ、茨城、千葉、東京などの地域の動物愛護センターから收容犬を引き出し、1~6 か月程度の一時飼養にて体と心をケアしたのち、譲渡会にて終生飼養希望の家庭と面談の場を設け、成立したら一般家庭へ譲渡をする活動を行っています。</p> <p>二つ目は、そもそも保護犬がうまれない世の中にしていくこと。これまでも譲渡会の場を通じてこうした身の回りの命に触れあってもらい、多様な動物の命を守ることそのものの啓もう活動も行ってきています。ですが譲渡会に足を運ぶ機会がない人にも、犬の正しい飼い方を知る機会を作ることが必要だと考え、幼少期の子どもたち向けの啓もう活動を実施していきます。</p> <p>ついては、今回の申請では 11 月開催の譲渡会にまつわる一連の業務として 7 月の引き出し~2 月の終生飼養家庭へのお届けまでの譲渡会事業と啓蒙活動事業を申請します。</p> |

2. 事業の内容

(1) アグリドッグレスキュー譲渡会

1 趣旨

愛護センターから引き出した保護犬を終生飼養希望の家庭と引き合わせる譲渡会を開催します。保護犬とのふれあいと同時に、パンフレット配布等を通じて、多様な命を大切に考えることの啓もう活動を行います。

動物の保護・譲渡会（お見合い）・終生飼養家庭へのお届けまでの一連の活動を事業として申請します。

2 時期

令和5年7月21日以降、動物愛護センター等からの引き出しを開始。医療ケアを施したのち、11月19日（日）に譲渡会を開催（日程変更の可能性あり）、その後終生飼養家庭へお届け。引出し～終生飼養家庭へのお届けまで約8か月を事業期間とします。

3 対象者 参加する保護犬に興味関心のある里親候補の方々

4 場所（譲渡会）

・ペットステーションWAN（三郷市三郷2-11-15）

5 参加見込人数 50～100名程度

6（外部）協力者・団体など

・会場提供協力として「ペットステーションWAN」

・協力動物病院

ドルフィンアニマルホスピタル

アニファ動物病院

あかつきペットクリニック

しん中央動物病院 など

(2) 啓もう活動

①趣旨

保護犬が生まれる一つの要因は、不適切な飼養です。未去勢の放し飼いの結果、子犬が産まれてしまう。飼えなくなったから捨ててしまう。本来、一つの命として大切なものとしてとらえる認識の欠如がこうした行動につながっているととらえています。

正しい犬の飼養について幼少期から理解できる内容の冊子を譲渡会等のイベントの会場で配布することを通じて、子どもたちへの啓もう活動を実施していきます。

②時期

7月～コンテンツ制作

11月～2月 啓蒙冊子の配布

2 対象者 譲渡会来場の子どもたち

3 場所

アグリ主催の譲渡会場

外部主催の譲渡会等のイベント会場 等

4 参加人数 250人（外部イベント開催の機会により変動）

7 協力者・団体など

・冊子のイラストを書き起こすイラストレーター（選定中）

3. 実施計画

○実施までの準備事項

(1) 譲渡会

1 保護犬の一時飼養にかかわる準備事項

- ・愛護センターからの犬の引き出しと搬送
- ・犬の医療処置等のケア活動
- ・一時飼養家庭での日々の飼育とその記録のブログ掲載

スケジュールとしては対象となる犬を引き出すタイミングは随時、ケアや飼育活動等は1か月～6か月程度を要します。
(犬の状態等により差があり)

2 譲渡会準備事項

- ・ブログを通じた一時飼養者による犬の記録の公開
- ・譲渡会場の交渉と確定
- ・譲渡会の日時及び参加犬のホームページ上での公開
- ・配布するパンフレット等の準備
- ・当日の設営

(2) 啓蒙活動

- ・冊子のコンテンツの企画と制作
- ・譲渡会場等での配布

○事業のスケジュール（予定）

(1) 譲渡会

| 時期 | |
|--------|---|
| 7月～11月 | ・埼玉県動物指導センター等の動物愛護センターから収容犬を引き出し ・一時飼養者宅へ搬送、病院にて検査・治療等 ・ブログ等 SNS にて日々の様子を一時飼養者が公開 ・アグリドッグレスキュー公式ブログにて譲渡会開催告知 |
| 11月19日 | 譲渡会開催 |
| 11月～2月 | 終生飼養家庭決定後、お届け トライアルののち正式譲渡 |

(2) 啓蒙活動

| 時期 | |
|--------|-------------|
| 7月～11月 | 冊子の企画制作 |
| 12月～2月 | 譲渡会場等での冊子配布 |

○広報計画について

- ・一時飼養者によるブログ活動や団体としての SNS 発信
- ・動物病院やペットサロン店頭等へのパンフレット設置
- ・イベント会場等でのパネルやパンフレットの設置

(2) 啓蒙活動

- ・園へのダイレクトメールなどのご案内
- ・ブログ活動や団体としての SNS 発信

| | |
|-----------------|---|
| <p>4. 実施体制</p> | <p>1 総括責任者 清永さつき（代表理事） 2 連絡責任者 吉富久美子（副代表理事） 3 現場責任者 田中由美子 4 経理担当者 熊谷佐紀 伊原明日香 5 広報担当者 太田美智代 鈴木聡子 6 事務局担当者 鈴木聡子 宮下心 田中智香子</p> |
| <p>5. 事業の効果</p> | <p>(1) 譲渡活動 令和4年度の同期間での正式譲渡頭数 計 34 頭 8月 8頭 9月 1頭 10月 9頭 11月 9頭 12月 7頭</p> <p>(2) 啓蒙活動 譲渡会来場者の子どもたちに、命の大切さや犬を飼うときの心得などをまとめたリーフレットをお配りし、最も身近な動物の命を大切に扱うことの重要性をお伝えし、SDGsが提唱する地球規模での生物多様性の考えの基礎となる考え方を浸透させてまいります。</p> <p>1回の譲渡会での啓もう活動人数（譲渡会参加数） 約 20 人、外部イベント会場などでの配布も含め期間合計では 250 人と推計します。</p> |

◎応募の際に本予算書で計上しなかった経費項目は、事業実施時に支出が生じたとしても対象経費とはなりません。

法人名 特定非営利活動法人 アグリドッグレスキュー

事業収支予算書

1 収入の部

| 項 目 | 予算額 (円) | 積算内訳 |
|---------------------|-----------|------|
| 助成希望額 (千円未満切り捨て) | 500,000 円 | |
| 自己資金 | 102,397 円 | |
| 事業実施による収入等 | | |
| その他 | | |
| 合 計 | 602,397 円 | ㊤ |

2 支出の部

| 項 目 | 予算額 (円) | 積算内訳 |
|-----------|-----------|-------------------------------------|
| 会場費 | | |
| 通信運搬費 | | |
| 旅費交通費 | 20,000 円 | 引き出し・搬送に係る交通費 ※1 |
| 消耗品費 | | |
| 備品費 | | |
| 委託費 | 52,397 円 | マット紙 110 キロ、12P、カラー、 500 部、B4 ※2 |
| 謝金 | | |
| 人件費 | | |
| その他 | 530,000 円 | 医療費等 ※3 |
| 合 計 (事業費) | 602,397 円 | ㊤ |

収入の部の合計 (㊤) = 支出の部の合計 (㊤)